

ごあいさつ

小松市には、四季折々にダイナミックな表情をみせる白山連峰を望み、豊富で清らかな水に潤された田園風景や、日本海の荒波が形づくった海岸線など、雄大な自然景観をはじめ、その中で営まれる人々の暮らしとともに、長い年月をかけて積み重ねられてきた個性豊かな街並み景観がみられます。

これらのかけがえのない美しい景観は、北陸の交流・物流・観光の玄関口としてふさわしいまちの品格を高め、次世代にわたって大切に受け継がるべき貴重な財産です。

「こまつまちなみ景観賞」は、景観を活かしたまちづくりを市民の皆さんと共に進めていくために、本市の自然、風土など、景観上優れたまちなみや建築物などを選び、それに携わった方々を顕彰するものです。

平成11年から始まり、地道に真摯な活動が実を結び始め、今年で11回を迎えました。今回は94件のご応募をいただき、選考委員会による厳正な審査を経て、5点が入賞作品として決定されました。

景観づくりは、市民、事業者、行政が協働して取り組むことが不可欠であり、今回受賞されました作品のいずれも、まちの佇まいを愛しみ、手をかけて育てていく様子がうかがえ、次々と新しさを求めて入れ替わりを続けるまちの風景を先導し、より一層輝きを増していくことを期待しています。

この景観賞が、皆さんの暮らしやまちの発展と調和した魅力ある景観づくりの一助となることを願い、今回受賞されました方々には心からお祝いを申し上げますとともに、本賞の趣旨に賛同し、ご応募いただきました多くの方々に深く感謝し、あわせて今後とも良好な景観づくりに向けてご理解並びにご協力を賜りますようお願いいたします。



こまつまちなみ景観賞
実行委員会会長
小松市長 和田 慎司



こまつまちなみ景観賞
選考委員長
森 俊偉

主催:こまつまちなみ景観賞実行委員会

小松商工会議所／(社)小松能美建設業協会小松委員会
小松建築設計監理協会／小松市造園業組合／小松市

【お問い合わせ】
こまつまちなみ景観賞実行委員会事務局(小松市都市建設部都市計画課) TEL0761-24-8099

総評

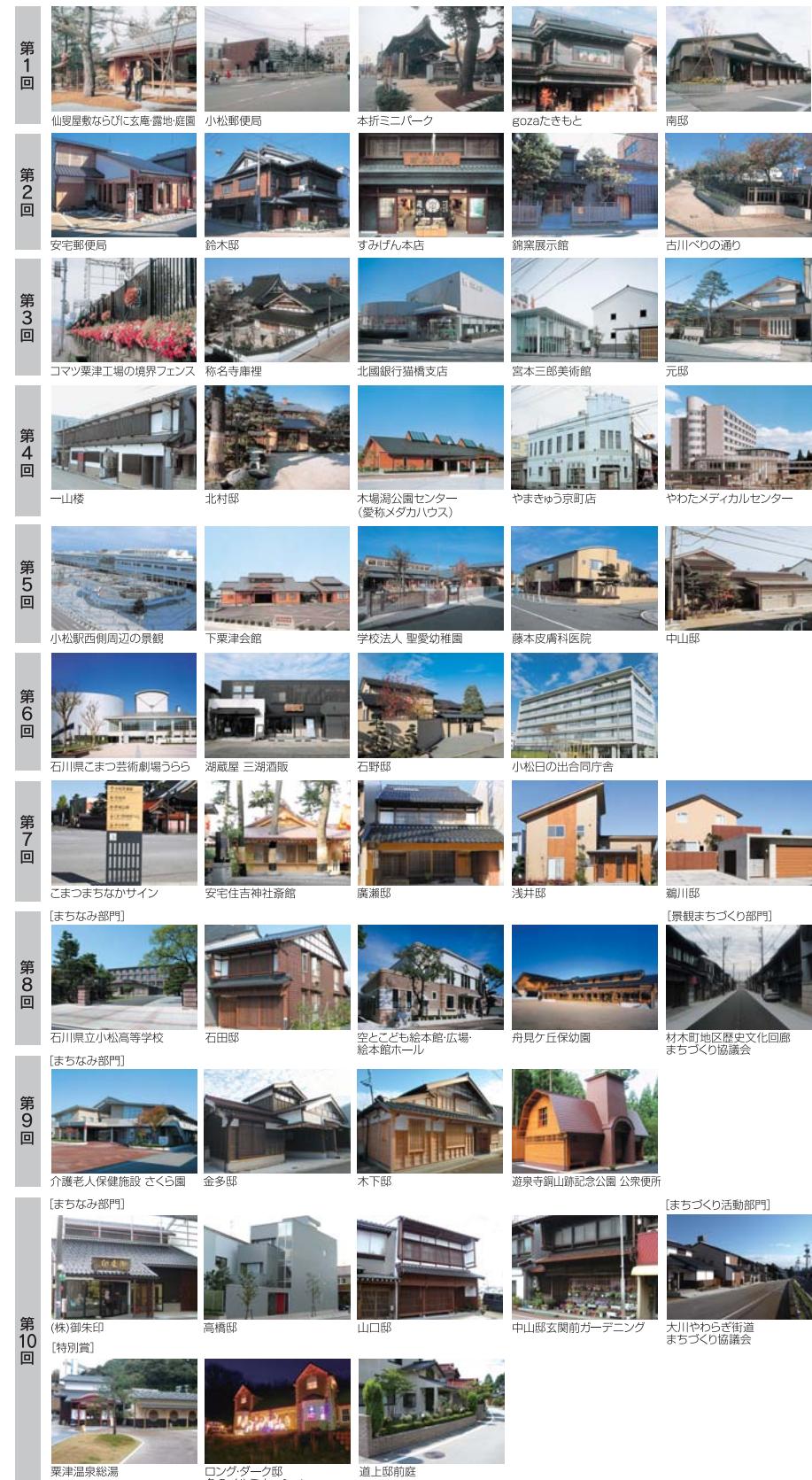
11回目となります今回は94件の応募がありました。一次の書面審査で「まちなみ部門」を12点に絞り、引き続き現地審査を行い、市内5ヶ所で行なわれた市民投票結果(総数977票)を参考にしつつ、最終的に「まちなみ部門」4点(内、建築物3点／まちなみ空間1点)のほか、「特別賞」1点を入賞として選定しました。なお、「まちづくり活動部門」への応募はありませんでした。

今年度の応募は、住宅、商業施設、公共施設、その他(ガーデニング、ライトアップなど)、全般的に小規模ですが、バランスよく応募がありました。特に、「経過年数を問わないこと」としたこともあり、古橋や門、歴史的な街並みなど多様性に富み、評価の視点の置き方について他の選考委員とも議論をしながら審査を進めました。

今回の特徴として、大川町の「理容店」などの民間の店舗や今江町の「医院」で、周辺景観に調和し、かつ街区の魅力アップに寄与しているものが多くにすることができました。また、経過年数を問わないことで、串町の「竹垣」や特別賞の「安宅町のまちなみ(義経通り)」など、時間を積み重ねることで生まれる景観としての美しさと価値を再認識する機会が得られたことも収穫でした。「エイジング」という言葉がありますが、時を重ねることで魅力を増す景観こそ本物といえます。

こまつまちなみ景観賞も11年という長い歩みを経てきましたが、啓蒙的意味合いを含め、その成果も着実に重ねられてきました。北前船の往時の賑わいを色濃く残す「安宅町のまちなみ(義経通り)」など、町衆文化の栄えた小松にはいい素材が沢山あります。伝統的なものが維持・継承され、現代的な新しい価値と魅力がさらに積層され、厚みのある都市・小松が形成されていくことに一層の期待をしたいと思います。

こまつまちなみ景観賞 受賞歴



平成21年度
第11回受賞作品

